

## 波高・波向・流速計 (WAVE HUNTER) の測定原理

### 超音波センサーによる波高測定

海底に設置された波高計から発射された超音波が海面で反射され、再度、波高計に戻るまでの時間測定を連続的に繰り返すことにより、海面の水位変化を測定します。取得されたデータから特別な演算処理をすることなく、直接波高を測定できるメリットがあります。

Wave Hunter での分解能 1cm、測定範囲 20.5m、使用設置水深 1~60m

### 水圧センサーによる波高測定

海底に設置された波高計の半導体式圧力センサーにより、波の上下動による圧力変動を海底で測定します。海表面が大きく乱れて超音波が使用不可能な場合に特に威力を発揮します。

Wave Hunter での分解能 1g/c m<sup>2</sup>、測定範囲 0~7Kgf/c m<sup>2</sup>

### 電磁流速センサーによる流速測定

センサーは磁界を発生するコイルと電極とからなり、海水が磁界を横切って流れると、その流れに比例した起電力が発生します(ファラデーの法則)。その電圧を電極で測定します。

Wave Hunter での分解能 1cm/sec、測定範囲±3m/sec

### 水温センサーによる水温測定

白金測温抵抗体により、温度変化による抵抗値の変化を検出して測定します。

Wave Hunter での分解能 0.1℃、測定範囲-5~40℃

### 波向の測定

取得された波高と東方成分流速、北方成分流速データから演算処理されます。共分散法にて演算処理されます。